

令和 5 年度
中海・宍道湖・大山圏域市長会
事業実施報告

目次

1 事業実施概要	……p. 1
2 一般会計	
1. 事務局運営費	
（1）事務局運営費	……p. 2
2. 事業費	
（1）活力にあふれる圏域づくり（産業振興）	
①圏域企業の産業連携支援事業	
・ 圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング	……p. 3
・ 産学・医工連携事業	……p. 5
②圏域内企業の海外展開支援事業	
・ 海外商談会参加等支援補助金	……p. 6
・ インドとの経済交流事業	……p. 7
・ 台湾との経済交流事業	……p. 8
③山陰いいものマルシェプロジェクト	
・ 山陰いいものマルシェプロジェクト	……p.10
（2）訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）	
①一社）圏域観光局への負担金	
・ 一社）圏域観光局への負担金	……p.11
（3）住みたくなる圏域づくり（環境の充実）	
①自然環境の保全・活用事業	
・ 自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発	……p.12
（4）ともに歩む圏域づくり（連携と協働）	
①圏域情報の共有・発信	
・ 圏域内外のエリアプロモーション	……p.14
②圏域内の連携・交流推進	
・ 圏域内の連携・交流推進	……p.15
・ 人材育成の共同化	……p.18
・ 文化・スポーツ交流促進事業	……p.20
・ 圏域情報活用推進事業	……p.22

・ 中海・宍道湖レガッタ開催支援事業	……p.22
・ 移住・定住促進事業	……p.23
③安心して暮らすことのできる環境づくり事業	
・ 防災対策の充実	……p.27

3 特別会計

(1) 環日本海貨客船航路就航支援

①定期貨客船航路就航支援補助金	……p.28
-----------------	--------

参 考 令和5年度 中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告

(1) 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局令和5年度決算額一覧表	……p.30
(2) 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告	
①外国人誘客対策事業	
・ クルーズ客船寄港時のおもてなし	……p.31
・ 圏域インバウンドプロモーション	……p.32
②国内誘客対策事業	
・ 国内広域観光プロモーション	……p.34
・ 人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業	……p.35
・ 圏域観光再生支援プログラム	……p.37
③圏域観光の魅力アップ事業	
・ 圏域周遊促進及び受入環境充実	……p.38
④中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費	
・ 中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営	……p.40

1 事業実施概要

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類への引き下げ、感染症の落ち着きに伴い、ひと、ものの交流が活発化する中、これまで推進してきた取り組みをさらに前へ進めるための事業展開を図ったところである。

台湾との経済交流の促進のため、フード台北への出展やセミナー、アンケートを実施し、今後の台湾との経済活動促進に向けた事業を実施した。また、中海・宍道湖・大山圏域台湾交流事業実行委員会を組織し、圏域における今後の台湾事業の推進体制を構築した。

また、8月には中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会をはじめとした、多くの関係者とともに、地元選出の国会議員等のご臨席も賜り、中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議設立総会を開催し、圏域が一体となり、中海・宍道湖8の字ルートの早期実現に向けて、取り組みを進める事を確認し、10月に開催した中海・宍道湖・大山圏域活性化シンポジウムをはじめとする要望活動及びPR活動を実施した。

観光需要が増大する中、(一社)中海・宍道湖・大山圏域観光局では、再開したクルーズ船の寄港に対応する観光案内業務を行い、台湾における台北温泉祭、春節前建国花市での現地PR及び韓国の旅行会社との商談会等インバウンドプロモーションを行い、国内向けPRとあわせ、回復する観光需要に合わせ、事業展開を図ったところである。

○一般会計	16事業	111,736千円	(※事務局運営費を除く)
○特別会計	1事業	0円	
事業検証については、中海・宍道湖・大山圏域市長会総合戦略推進委員会で実施。			

1. 事務局運営費

(1) 事務局運営費

事 業 名 等	事務局運営費			
事 業 概 要		予 算 現 額		9,300,000 円
中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局の運営にかかる経費。 圏域市長会の円滑な運営を図るため、市長会規約第 11 条第 1 項の規定に基づき、事務局を置く。	財 源 内 訳	決 算 額		8,878,072 円
		国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
		負 担 金	一般	4,057,201 円
			特定	4,820,871 円
	前年度決算額		8,382,156 円	

1. 事業内容

(1) 各種会議の開催

総会	3 回	8/ 7・ 2/13・ 3/29 (書面)
副市長の会	1 回	1/29
幹事会	3 回	7/18・ 11/27・ 1/31
産業振興担当部長会	1 回	11/10
企画担当課長会	5 回	5/ 2・ 7/ 5・ 10/11・ 11/17・ 1/19
産業振興担当課長会	2 回	4/26・ 10/ 5
観光振興担当課長会	2 回	5/ 8・ 11/ 9
環境保全担当課長会	2 回	4/25・ 10/ 2
総合戦略推進委員会	1 回	7/26

(2) 事務局の運営

2. 経費内訳

	現計予算額	R5 決算
会議費	420,000 円	437,797 円
旅費	300,000 円	28,820 円
需用費	1,240,000 円	853,071 円
役務費	500,000 円	529,796 円
委託料	40,000 円	35,414 円
使用料及び賃借料	1,200,000 円	1,567,303 円
備品購入費	600,000 円	605,000 円
人件費負担金①	5,000,000 円	4,820,871 円
計	9,300,000 円	8,878,072 円

○令和5年度人件費負担金① 一般第4期

	当初予算	R5 決算
米子市	1,250,000 円	1,205,217 円
松江市	1,250,000 円	1,205,217 円
出雲市	1,250,000 円	1,205,217 円
境港市	625,000 円	602,610 円
安来市	625,000 円	602,610 円
計	5,000,000 円	4,820,871 円

2. 事業費

(1) 活力にあふれる圏域づくり（産業振興）

02 事業費

事業項目	①圏域企業の産業連携支援事業		
事業名	圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング		
事業概要			予算現額 10,350,000 円
圏域内の商工団体と行政で構成する「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」と連携し、圏域内企業の連携支援を行う。	決算額		6,371,832 円
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般 6,371,832 円 特定 0 円
	前年度決算額		7,730,000 円

1. 事業内容

圏域内企業の取引拡大や連携促進等による圏域経済の活性化を図るため、圏域内の商工団体と行政で構成する「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」（事務局：まつえ産業支援センター）へ業務委託し、ビジネスマッチング商談・展示会の開催等を行った。

(1) 圏域内企業情報データベースの情報発信

○圏域内企業間の産業連携や圏域外企業との新たな事業連携を促進するため、「圏域ものづくり.net」の掲載企業情報を充実させ、圏域内外企業へ情報発信を実施

「圏域ものづくり.net」実績

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
登録企業数(社)	568	579	601	695	707	724
全アクセス数(件)	476,004	541,952	525,415	619,575	659,958	602,205
月平均アクセス数(件)	39,667	45,162	43,784	51,631	54,996	50,183

(2) 圏域内企業のビジネスマッチングの開催

○圏域内企業の販路拡大、共同開発、技術支援、業務提携の促進等を図るため、10月19日(木)、米子コンベンションセンターにてビジネスマッチング商談・展示会 2023in 米子を対面式で開催

「ビジネスマッチング商談会」実績

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加企業(社)	301	285	291	163	163	196	179
商談件数(件)	711	651	663	318	263	479	438
開催地	米子市	安来市	出雲市	オンライン		松江市	米子市

※H29～R1、R4～R5の数値：対面式商談会、R2、R3数値：オンライン商談会

第2期地方版総合戦略の数値目標：R2～R6 商談件数累計 3,400 件（680 件/年あたり）

発注企業招致状況

年度	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
会場	オンライン エントリー 商談参加		オンライン エントリー 商談参加		松江 エントリー 商談参加		米子 エントリー 商談参加	
機械金属系	30(13)	25(12)	22(6)	15(6)	37(20)	27(13)	27(14)	24(13)
飲料・食料品系	31(11)	27(8)	41(9)	28(6)	44(10)	39(7)	42(13)	38(12)
合計	61(24)	52(20)	63(15)	43(12)	81(30)	66(20)	69(27)	62(25)

※() 内は新規

エリア別商談件数

年度	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
会場	オンライン		オンライン		松江		米子	
圏域外⇔圏域内	225 件(70.7 件)		182 件(69.2%)		375 件(78.3%)		310 件(70.8%)	
圏域内⇔圏域内	32 件(10.1%)		47 件(17.9%)		43 件(9.0%)		39 件(8.9%)	
圏域外⇔圏域外	61 件(19.2%)		34 件(12.9%)		61 件(12.7%)		89 件(20.3%)	
合計	318 件		263 件		479 件		438 件	

※圏域外 受注連携企業(山陰)



ビジネスマッチング商談会の様子

2. 経費内訳

- ・ 中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会への委託料 6,371,832 円

事業項目	①圏域企業の産業連携支援事業		
事業名	産学・医工連携事業		
事業概要	圏域内の商工団体、自治体、国立大学、国立工業高等専門学校、研究機関等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」と連携し、圏域内企業の産学・医工連携支援を行う。	予算現額	10,970,000 円
		決算額	10,927,718 円
		財 国・県支出金	0 円
		源 補助金	0 円
		内 負担金	一般 10,927,718 円
		訳 特定	0 円
	前年度決算額		10,231,463 円

1. 事業内容

圏域の自治体、事業者、病院、国立大学等の産官学で行われている医工連携の取組促進により、産業振興、雇用創出等を図るため、圏域内の商工団体、自治体、国立大学等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」（事務局：米子市経済戦略課）へ業務委託し、産学・医工連携の取組における各種ニーズとシーズのマッチング機会の提供（入口支援）、研究への指導・助言等（開発支援）及び製品化された器具の販路開拓（出口支援）等、各段階における支援を行った。

(1) 医療・福祉・介護機器の開発支援

○ニーズ案件の試作・実用化・臨床化支援

○各種相談支援（マッチング支援、開発支援、販路開拓支援、困りごと相談）

※年間相談件数：125 件

(2) ニーズの調査、検討及び案件化

○前年度の圏域内医療機関等のニーズ案件に関する調査及び検討

○実現精度の高いニーズの具現化（新規開発・既製品とのマッチング）

○圏域外企業からの部品調達ニーズへの対応（圏域内企業とのマッチング）

※マッチング成立件数：19 件

(3) 普及広報活動

○ホームページ、パンフレット、圏域企業ガイドブック等による情報発信

①賛助会員相互の情報交換の場「賛助会員の広場」の運営

②ホームページ上に「医工福連携なんでも相談コーナー」を新規に開設

③協議会広報紙「医工連携推進協議会通信」の発行（年 3～4 回・季刊）

④医工福連携の取組みの推進（福祉現場からのニーズ聴取・賛助会員加入促進）

※賛助会員数：85 社（R6/3 月末現在）

〔令和 5 年度の新製品開発等（実用化）〕

○医療廃棄物容器用電動開閉装置「ミューカス」の販売支援
圏域の医療機関（済生会境港総合病院）の企画考案による
開発製品の低価格化・販路拡大等に取り組んだ。

○賛助会員による圏域内開発製品の広報宣伝・販売等の支援

高衝撃緩和型薄畳「ミグサケア」・積水成型工業(株)

新しい減塩システム「無限レシピ」・(株)みらい無限レシピ

医療用放射線管理システム「ラドファイル X」・(合同)放射線測定システム



2. 経費内訳

・中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会への委託料 10,927,718 円

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業				
事業名	海外商談会参加等支援事業				
事業概要	海外で行われる商談会等に参加する圏域内の企業へ補助金交付等を行い、海外展開やインバウンドの推進に繋がる取組を支援する。		予算現額		3,000,000 円
決算額			1,552,000 円		
財源内訳			国・県支出金		0 円
			補助金		0 円
			負担金	一般	1,552,000 円
				特定	0 円
		前年度決算額		3,600,000 円	

1. 事業内容

圏域内企業における外国人観光客の誘致及び自社製品・技術等の海外への販路開拓に向けた海外商談会参加等の自主的な取組を支援するために補助金を交付する事業。年度後半には新型コロナウイルス感染症にかかる渡航規制も緩和され、補助金が活用された。

(1) 海外商談会参加等支援補助金

- 実績 11 事業所に対し 1,552 千円の補助金を交付
- 実施期間 令和 5 年 5 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
- 募集期間 令和 5 年 5 月 1 日～令和 6 年 1 月 31 日
- 補助対象者 圏域 5 市に本社または主たる事業所を有する中小企業等または複数の企業により構成されるグループ・団体
- 補助金額 原則、補助対象経費の 1/2 補助上限額 10 万円
ただし、以下の場合、①～②に応じた補助率、補助上限額。
① 韓国、中国、インド及び台湾での商談会等に参加する場合
補助対象経費の 2/3 補助上限額 15 万円
② 前年度以前（H24～）に補助金の交付を受けている場合
補助対象経費の 1/4 補助上限額 10 万円
- 申請回数限度 同一の申請者は、同一年度に 1 回を申請限度とする。

〔補助金交付実績（参考）〕

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
補助事業者数	30	18	18	5	13	15
補助金額（千円）	3,455	3,285	2,898	663	1,818	2,834
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
補助事業者数	5	16	0	0	25	11
補助金額（千円）	308	1,364	0	0	3,600	1,552

2. 経費内訳

- ・海外商談会参加等支援補助金 1,552,000 円

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業		
事業名	インドとの経済交流事業		
事業概要	インド・ケララ州との経済交流拡大を目指す覚書（MOU）の締結に基づき、企業進出やビジネスマッチング等の実現のため、密接な協力体制の構築支援、情報交換、視察交流等を行う。	予算現額	15,421,000 円
		決算額	10,475,158 円
		財源内訳	
		国・県支出金	0 円
		補助金（クレア）	3,500,000 円
		負担金	一般 6,975,158 円 特定 0 円
		前年度決算額	8,396,225 円

1. 事業内容

平成 27 年にインド・ケララ州政府と締結した経済交流を拡大する覚書の具体化を図るため、圏域とインド・ケララ州を繋ぐグローバルな視野を持つ IT 等人材の圏域内企業への就職、日印企業連携推進を目的に、圏域の産業・商工団体、島根大学、自治体等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域インド人材受入・企業連携事業実行委員会」（事務局：まつえ産業支援センター）へ業務委託し、ケララ州の学生等に対する日本語教育支援、圏域企業へのインターンシップ等を行った。

(1) インターンシップ・会社見学受入

- ① 島根大学交換留学生 3 名（ラジャギリ工業技術大学院 3 名）
 - ・インターンシップ時期：1 月～3 月 受入企業：2 企業
- ② 短期インターンシップ生 5 名（ラジャギリ工業技術大学 2 名・コチ理工大学 3 名）
 - ・インターンシップ時期：1 月～2 月 受入企業：2 企業
 - ・ウェビナーで PR 実施（事前申込：356 名/当日参加：196 名）
 - ・総応募数：494 名
- ③ 圏域企業 2 社へ会社見学実施

(2) インド人材向けオンライン日本語教育

- ① 圏内に就職した IT エンジニア対象 N 4 対策クラス（5 名）
- ② 島根大学交換留学生対象クラス（3 名）
- ③ 短期インターンシップ参加候補者対象クラスを実施（10 名）

(3) ビジネスピッチコンテスト

募集期間：令和 5 年 9 月 1 日（金）～11 月 10 日（金）
応募数：43 件



日本語教育の実施



インターンシップ



ビジネスピッチコンテスト



会長表敬訪問

2. 経費内訳

・中海・宍道湖・大山圏域

インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会への委託費 10,475,158 円

【財源】

令和 5 年度自治体国際協力促進事業（モデル事業）助成金 3,500,000 円

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業				
事業名	台湾との経済交流事業				
事業概要	台北市との経済等交流促進を目的にした覚書の締結に合わせ、セミナー等を開催し、海外展開への機運の醸成を図る。		予算現額		11,100,000 円
決算額			10,353,046 円		
財源内訳			国・県支出金		3,749,335 円
			補助金		0 円
			負担金	一般	6,603,711 円
				特定	0 円
前年度決算額		5,112,721 円			

1. 事業内容

台北市との間で締結した交流促進覚書を具体化するため、海外展開への支援を行った。

- ・「フード台北（台北国際食品展）」への出展。

期間：6月13日(火)～6月17日(土) 場所：台北南港展覽館2館(台北市)

参加：北陽冷蔵(株)(境港市)、(株)さんれいフーズ(安来市・米子市)



- ・春節前建国花市、台北温泉祭に合わせた圏域PR、文化交流イベントの開催。

台北温泉祭

期間：11月1日(水)～11月6日(月) 場所：MRT 新北投駅周辺(台北市)

参加：米子市(伊木市長)、皆生温泉旅館組合(米子市) 圏域観光PR実施。

来場者数 約25万人



春節前建国花市

期間：2月3日(土)～2月9日(金) 場所：建国假日花市(台北市)

参加：松江市(上定市長)、圏域観光局 他

圏域観光PR、文化交流イベント及び圏域物産PRを実施。



- ・台湾進出にかかる相談サポート事業の実施

期間：12月1日(金)～2月29日(木)

申込数：1件（事務局とのオンライン会議等も実施）

- ・台湾での経済活動促進、FOODTAIPEIに向けたセミナーの開催。

日時：12月18日(月)14:00～16:00

参加：12社

講師：桔想国際有限公司(Oranging Inc) 運営総監 COO 網本 友加 氏

JETRO(日本貿易振興機構)農林水産食品部 事業推進課 課長代理 長峰 裕樹 氏



- ・圏域企業への台湾に係る意識調査

期間：1月9日(火)～2月6日(火)

回答数：254件(回収率：38.7%)

- ・事業推進のための支援組織立ち上げ。(2月2日)

(構成各市、鳥取県西部町村会、ブロック経済協議会、圏域観光局、JETRO)

2. 経費内訳

(1) 事業推進のための支援組織設立	85,191 円
(2) 圏域内企業の海外展開に関するアンケート、台湾進出相談サポート事業	2,878,250 円
(3) 圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催	103,108 円
(4) フード台北への参加企業支援	1,653,474 円
(5) 建国花市、北投温泉祭への参加、文化イベント開催	5,633,023 円
	計 10,353,046 円
【財源】 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）	3,749,335 円

事業項目	③山陰いいものマルシェプロジェクト						
事業名	山陰いいものマルシェプロジェクト						
事業概要	山陰の中核地域である中海・宍道湖・大山圏域の官民組織が連携し、山陰が誇る「いいもの」を再発掘するとともに、ＪＲ西日本等とタイアップし、全国へ情報発信をする。			予算現額		7,500,000 円	
				決算額		7,500,000 円	
				財源	国・県支出金		0 円
					補助金		0 円
				内訳	負担金	一般	7,500,000 円
						特定	0 円
				前年度決算額			7,500,000 円

1. 事業内容

ＪＲ西日本、山陰中央新報社、ジェトロ、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、圏域市長会の５者で構成する「山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会」（事務局：松江商工会議所）と協定を締結し、山陰いいものマルシェ及びマッチング商談会を開催した。

(1) 圏域内でのマルシェ及び商談会の開催

○「山陰いいものマルシェ in 米子」の開催

- ・開催日：9/18(月・祝)10:00-14:00
- ・会場：米子コンベンションセンター前（出店 41 店舗）
※荒天のため、途中中止（来場：2,000 名）

○山陰いいものマルシェ マッチング商談会の開催

- ・開催日：9/19（火）米子市文化ホールで開催
参加バイヤー：16 社 参加事業者：19 社 商談数：100 商談
商品評価 30 件、商品開発アドバイス 14 件
販路開拓アドバイス 30 件、担当者へ取次 17 件
催事・試食（試飲）販売の出展を検討 12 件、
ギフト・通販の取扱い検討 20 件、常設商品として取扱いを検討 18 件



(2) 圏域内外でのマルシェ開催、協力事業

「半島デリシャス」×「山陰いいものマルシェ」in シャミネ松江：11/23(木・祝)～26(日)
出店者 14 社（1 店舗/1～2 日程度出店）



2. 経費内訳

山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会への負担金 7,500,000 円

(2) 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

02 事業費

事業項目	①一社) 圏域観光局への負担金				
事業名	一社) 圏域観光局への負担金				
事業概要		予 算 現 額		44,979,000 円	
一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づき、観光事業に対する負担金を支出する。	決 算 額		44,979,000 円		
	財 源 内 訳	国・県支出金		円	
		補助金		円	
		負 担 金	一般	44,979,000 円	
			特定	円	
	前 年 度 決 算 額		45,110,000 円		
1. 事業内容 ○参考「令和5年度中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告（P29～P40）」のとおり 2. 経費内訳 ○参考「令和5年度中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告（P29～P40）」のとおり					

(3) 住みたくなる圏域づくり（環境の充実）

02 事業費

事業項目	①自然環境の保全・活用事業		
事業名	自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発		
事業概要	圏域の次代を担う子どもたちへ、自然環境に関する学習機会の提供等を行い、圏域の自然の豊かさや環境保全について普及啓発を図る。	予算現額	2,250,000 円
		決算額	1,619,871 円
		財 国・県支出金	0 円
		源 補助金	0 円
		内 負担金	一般 1,619,871 円
		訳 特定	0 円
		前年度決算額	2,330,165 円

1. 事業内容

ラムサール条約登録湿地である中海・宍道湖をはじめとする圏域の豊かな自然や環境について、圏域の子どもたち等へ体験を通して学習できる機会提供や情報発信企画等を行い、圏域の自然環境の普及啓発や保全、また、持続可能な開発目標（SDGs）に向けた取組の推進を図る。

(1) 子ども探検スクールの開催

圏域の豊かな自然や環境施設等を活用し、自然環境やSDGsについて、子どもたちが現地で学習できる機会等を提供する。

①脱炭素をテーマとした施設見学、体験学習

②中海・宍道湖の水鳥観察、水環境学習

③海岸漂着ごみから学ぶ

④会場市以外の圏域の取組紹介を行う

<夏企画>

○境港会場 8/ 5(土) ㈱三光本社・潮見工場 27名/13組(申込 58名/28組)

○安来会場 8/ 6(日) 伯太発電所・伯太中央交流センター 16名/8組(申込 83名/40組)

○松江会場 8/19(土) 片江ふれあい会館・周辺海岸 25名/12組(申込 38名/18組)

○中海・境水道会場 8/20(日) 若鳥丸 38名/19組(申込 198名/97組)



境港会場



安来会場



松江会場



中海・境水道会場

<冬企画>

- 宍道湖会場 11/18(土) 宍道湖グリーンパーク・斐伊川河口 8人/3組(申込8人/3組)
- 中海会場 11/19(日) 中海 18人/9組(申込51人/25組)
- 米子会場 11/25(土) 米子市クリーンセンター・内浜処理場 13人/6組(申込17人/8組)
- 出雲会場 12/ 3(日) 斐川環境学習センター 24人/11組(申込26人/12組)



宍道湖会場



中海会場



米子会場



出雲会場

(2) 自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信

各関係団体の取組との連携、ごみに関する意識啓発、ノベルティグッズの活用等により、圏域の自然環境の豊かさや保全等に係る普及啓発を図る。

①水中ドローンを活用した海洋ごみに関する意識啓発・学習・展示



みなとテラス(境港市)での展示

②ノベルティグッズの作成

海洋プラスチックを再利用したボールペン



③第8回中海バイク&ラン+(プラス)

主催：島根県、鳥取県 共催：中海・宍道湖・大山圏域市長会

期日：令和5年10月21日(土) 8:30~16:30

スタート・ゴール：中海ふれあい公園(安来市穂日島町143番地)

参加：160名(参加無料)

内容：スマートフォンのGPS機能を利用したスタンプラリー。ノベルティグッズを提供。

2. 経費内訳

- 子ども探検スクールの開催 530,871円
- 自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信 1,089,000円

(4) とともに歩む圏域づくり（連携と協働）

02 事業費

事業項目	①圏域情報の共有・発信					
事業名	圏域内外へのエリアプロモーション					
事業概要	圏域振興ビジョンに示す圏域の将来像、ビジョンや市長会の活動の広報周知に努めるとともに、圏域内での一体感醸成、圏域外における認知度向上のための情報発信を行う。			予 算 現 額		180,000 円
決 算 額				177,100 円		
財 源 内 訳				国・県支出金	0 円	
				補 助 金	0 円	
				負 担 金	一般	177,100 円
					特定	0 円
前年度決算額		1,599,730 円				

1. 事業内容

市長会ホームページや年4回掲載する市長会通信により、市長会の活動について、広報周知を行った。

(1) ホームページ等を活用した圏域内外への広報周知

○ホームページ管理業務委託

(2) 市広報紙への市長会通信の掲載

○市長会の活動について年4回、各市の広報紙を活用し情報発信を実施



各市の広報紙に掲載

2. 経費内訳

- ・ ホームページ管理業務委託料 177,100 円
- ・ 合計 177,100 円

事業項目	②圏域内の連携・交流推進				
事業名	圏域内の連携・交流推進				
事業概要	圏域内の行政間や民間団体間、行政と民間団体等の更なる連携と交流を図る。		予算現額		11,490,000 円
決算額			11,489,463 円		
財源内訳			国・県支出金		0 円
			補助金		0 円
			負担金	一般	11,489,463 円
				特定	0 円
		前年度決算額		4,334,473 円	

1. 事業内容

圏域で一体となって推進すべき事業の精査、検討を行い、各市、各団体間での連携・交流推進を図るとともに、特定の課題に対して各市間及び各団体との意見交換の場を設ける等、連携を促進するための仕掛けづくりを行った。

(1) 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進

○8月7日（月）中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議設立総会に併せ、合同勉強会の開催

・講師：筑波大学 名誉教授 石田東生 氏

・演題：中海・宍道湖8の字ネットワークの整備効果と実現に向けた挑戦

○2月13日（火）合同勉強会の開催

①報告「重要インフラ圏域内連携方策の検討について」

・報告者：中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会

幹事長 森田豊充 氏（米子商工会議所 専務理事）

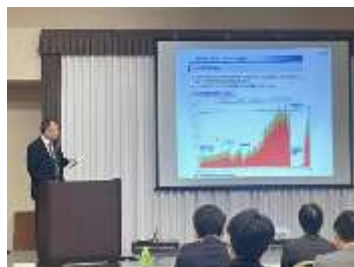
②講演「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」

・講師：内閣府 沖縄総合事務局 運輸部長 沖縄観光総合施策推進室長 星明彦 氏

一般社団法人 Expe 代表理事 広瀬徹 氏

③講演「全国・山陰のインバウンドの現状と機構の取組みについて」

・講師：一般社団法人山陰インバウンド機構 代表理事 野浪健 氏



(2) 圏域内インフラ（中海架橋、米子道4車線化、境港出雲道路、境港米子道路、境港整備、新幹線整備など）の整備促進に関する要望活動等、圏域一体で取り組む事業の推進・強化

○「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議」令和5年度総会開催（5/16）

○中国横断新幹線（伯備新幹線）整備に係る国土交通省に対する要望活動

①国土交通省 鉄道局長への要望活動（6/7）

②国土交通省 鉄道局局長への要望活動（11/15）

○大山町（大山町役場本庁舎横）、日野町（日野町役場前電光掲示板）、日吉津村（イオンモール日吉津西館横交差点）の周辺施設等に新幹線PR看板を設置

○境港整備に係る国交省、鳥取県・島根県選出国會議員に対する要望活動

①国土交通省港湾局長及び地元選出国會議員への要望活動（11/13、2/6）

○中国横断自動車道岡山米子線（蒜山IC～境港間）整備促進総決起大会

①中国横断自動車道岡山米子線（蒜山IC～境港間）整備促進総決起大会を共催（11/13）

【中国横断新幹線（伯備新幹線）整備に係る要望活動】



【PR 看板の設置】



(3) 中海・宍道湖 8 の字ルート整備推進会議の設立

○中海と宍道湖を介して 8 の字につながる高規格道路ネットワーク（中海・宍道湖 8 の字ルート）整備の機運が高まったことから、8 月に行政、議会、経済団体等で構成される「中海・宍道湖 8 の字ルート整備推進会議」を設立し、両県とともに国への要望活動や住民への啓発活動を行った。

・地元選出国會議員、道路局審議官への推進会議設立報告（6/7）

・設立総会（8/7 米子市）

・新聞による広報啓発活動（8/27 山陰中央新報、日本海新聞に掲載）

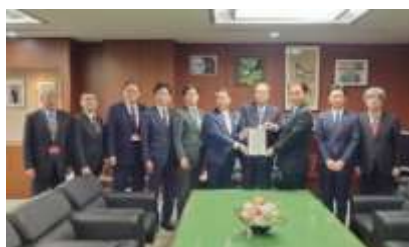
・森昌文内閣総理大臣補佐官との要望意見交換会（10/3）

・中海・宍道湖・大山圏域活性化シンポジウム（10/3）

・地元選出国會議員（11/14）

・国土交通大臣及び国土交通省道路局長（11/15）

・啓発イベント「中海・宍道湖 8 の字ルートスタンプラリー」の実施（約 330 名参加）



(4) 全国街道交流会議第 13 回全国大会「山陰大会」

○街道によって結ばれた地域間の交流や連携を促し、街道でつながった歴史、文化を生かしたまちづくりを推進することを目的とした、全国街道交流会議第 13 回全国大会「山陰大会」本大会を開催した。観光文化事業として、小泉八雲を共通テーマとした圏域を周遊する SDGs バスツアーを小学生とその保護者を対象に実施した。

- ・小泉凡さんとめぐる小泉八雲ゆかりの地 山陰で学ぶ SDGs バスツアー

第 1 回松江 (7/22)、第 2 回出雲 (7/23)、第 3 回境港 (7/29)、第 4 回米子・安来 (7/30)
圏域 5 市の小学 4～6 年生とその保護者 11 組 (23 名) が参加

- ・全国街道交流会議第 13 回全国大会山陰大会本大会

2/17 安来市総合文化ホールアルテピア (560 名)

小泉凡館長 (小泉八雲記念館) による基調講演、5 市長によるパネルディスカッション等を実施



2. 経費内訳

・意見交換会、合同勉強会の開催経費	303,022 円
・圏域内連携事業推進経費 (要望活動旅費等)	1,324,410 円
・中国横断新幹線 (伯備新幹線) 整備推進会議負担金	2,450,000 円
・中海・宍道湖 8 の字ルート整備推進会議助成金	5,009,000 円
・全国街道交流会議第 13 回全国大会山陰大会開催負担金	2,403,031 円
・合計	11,489,463 円

事業項目	① 圏域内の連携・交流推進				
事業名	人材育成の共同化				
事業概要	圏域内における人的交流の推進による一体感の醸成を図り、圏域を担う人材育成に向けた取組を行う。		予算現額		1,700,000 円
決算額			1,536,234 円		
財源内訳			国・県支出金	0 円	
			補助金	0 円	
			負担金	一般	1,536,234 円
				特定	0 円
前年度決算額		1,446,615 円			

1. 事業内容

中海・宍道湖・大山圏域の未来を切り開く推進力となる人材育成を目的に、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会と共同で研修会を開催し、受講者が多彩な分野の講師による経験・理論を学んで視野を広げるとともに、企画力・想像力を磨く機会を提供した。また、圏域の若者の人材育成として、高校生を対象とした発明楽コンテストへの支援を行った。

(1) 官民が連携した人材育成研修の実施

○「山陰まんなか未来創造塾」の開催

圏域の企業・団体・自治体に勤務する概ね 30～40 歳代の社員や職員等を対象に、全 3 回（1 回座学、2 回圏域企業の視察）開催した。

【第 1 回】

- ・日 時：12 月 19 日（火）13:30～16:30
- ・会 場：松江商工会議所 1 階教養文化センター
- ・講 義：「地域資源を活かした地方経済の活性化」
- ・講 師：佐藤裕久氏（株式会社バルニバービ 代表取締役会長 CEO 兼 COO）
- ・グループワーク：自らの街の魅力に気づくワークショップ
グループワーク終了後に、参加者同士の交流会を実施
- ・出席者 40 人（企業 21 人、商工団体 4 人、自治体 15 人）

【第 2 回】地元企業視察 一畑電車株式会社

- ・日 時：1 月 12 日（金）13:30～16:00
- ・会 場：一畑電車 雲州平田駅
- ・出席者 31 人（企業 14 人、商工団体 2 人、自治体 15 人）

【第 3 回】地元企業視察 三光株式会社

- ・日 時：2 月 15 日（木）13:30～16:00
- ・会 場：三光株式会社
- ・出席者 35 人（企業 16 人、商工団体 4 人、自治体 15 人）



(2) 圏域未来人材の育成

○発明楽普及支援事業の実施

圏域の高校生を中心とした次世代の産業人材の育成及び技術・製品開発能力の向上に向けた機運醸成を目的とした発明楽コンテストに対し、支援を行った。

- ・ 名 称 第5回発明楽コンテスト（高校生による発明案プレゼンテーションコンテスト）
- ・ 開催日程 3月27日（水）13:00～16:00
- ・ 開催場所 鳥取大学医学部記念講堂
- ・ 主 催 発明楽コンテスト実行委員会（鳥取大学医学部附属病院、BSS 山陰放送）
- ・ 応募期間 10月16日（月）～1月15日（月）
- ・ 応募資格 高等学校に在籍する生徒 1～5名（複数案応募可）
- ・ 募集内容 「未来を守る発明」
「困っている課題を解決し、まわりの人が笑顔や幸福（Well-Being）になれるアイデア」
- ・ 広報活動 Web 掲載期間 11月20日（月）～3月27日（水）
その他 山陰の全高校への書面による募集活動
- ・ 応募総数（チーム総数）
鳥取県3校（10チーム）、島根県1校（2チーム）
計4校（12チーム） 総勢37名の高校生参加
このうち最終審査に圏域から、3校（米子東高校・米子西高・出雲高校）が出場



2. 経費内訳

・ 山陰まんなか未来創造塾実行委員会への負担金	1,036,234 円
・ 発明楽普及支援事業	500,000 円
・ 合計	1,536,234 円

事業項目	② 圏域内の連携と協働				
事業名	文化・スポーツ交流促進事業				
事業概要	圏域内の歴史資源、伝統芸能、スポーツ、芸術など、相互交流を推進することにより、魅力ある圏域を知り、心豊かな生活環境を創出する。	予算現額			2,610,000 円
		決算額			1,756,596 円
		財源内訳	国・県支出金		0 円
			補助金		0 円
			負担金	一般	1,756,596 円
				特定	0 円
		前年度決算額			1,261,150 円

1. 事業内容

学校区や自治体の枠を越えた若い世代からの交流促進及び圏域のプロスポーツチームと交流、各市で開催されるイベントでの伝統芸能の披露により、地域への愛着や一体感の醸成を図ることを目的に、圏域内の文化・スポーツ交流促進事業の実施及び支援等を行った。

(1) スポーツを通じた圏域交流イベントの開催

○圏域の小学生とその保護者を対象とした、圏域のプロスポーツチームの選手等とのスポーツ交流イベント「～トップアスリートとあそぼう～第5回キッズふれあいスポーツフェスティバル」を開催した。

- ・日時 2月23日（金・祝）13:30～16:00
- ・会場 鳥取県立米子産業体育館（メインアリーナ）
- ・参加チーム ガイナーレ鳥取、ディオッサ出雲、島根スサノオマジック
- ・イベント内容 ガイナーレ鳥取…昔遊び（鬼ごっこ）
ディオッサ出雲…フットサル
島根スサノオマジック…バスケットボール
- ・参加者 圏域の小学生1～2年生及びその保護者92名（46組）当日欠席4組
※定員50組に対し233組が応募。



(2) イベント交流事業の開催

○各市で開催されるイベントにおける伝統芸能の披露など交流事業を実施

イベント名称	招致団体	開催日時
第 78 回みなと祭	安来節保存会（安来市） 関乃五本松節保存会（松江市）	7 月 23 日
第 18 回出雲神話まつり	川津ふる里太鼓（松江市）	8 月 20 日
玉造夜芸	安来節（安来市）	9 月 15 日～18 日、22 日～24 日、 29 日～30 日、10 月 1 日
松江水燈路	永春神楽団（出雲市）	10 月 7 日
第 25 回やすぎ刃物まつり	まつえ若武者隊（松江市）	10 月 7～8 日
よどえ夢まつり （第 40 回淀江町産業祭）	原田神楽保存会（出雲市）	10 月 22 日



2. 経費内訳

・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催	690,444 円
・イベント交流事業の開催	1,066,152 円
・合計	1,756,596 円

02 事業費

事業項目	②圏域内の連携・交流推進				
事業名	圏域情報活用推進事業				
事業概要	圏域市長会構成市等のあらゆる情報を、 圏域の連携事業に活用する。		予算現額		400,000 円
決算額			0 円		
財源内訳			国・県支出金		0 円
			補助金		0 円
			負担金	一般	0 円
				特定	0 円
		前年度決算額		257,121 円	
1. 事業内容					
令和 2 年 2 月に締結した国立大学法人東京大学地域未来社会連携研究機構との協定に基づき、地域課題政策立案プログラムを推進する。令和 5 年度は東京大学地域未来社会連携研究機構との連携事業は実施に至らなかった。					
2. 経費内訳					
・ 合計 0 円					

02 事業費

事業項目	②圏域内の連携と協働				
事業名	中海・宍道湖レガッタ開催支援事業				
事業概要	中海・宍道湖の自然環境の保全と賢明利用を推進するため、中海・宍道湖レガッタの開催を支援する。		予算現額		200,000 円
決算額			200,000 円		
財源内訳			国・県支出金		0 円
			補助金		0 円
			負担金	一般	200,000 円
				特定	0 円
		前年度決算額		0 円	

1. 事業内容

中海・宍道湖を活用したレガッタ大会開催に係る支援

大会の円滑な実施を支援するとともに、自然環境の保全・活用、エコツーリズムといった観光振興及び圏域内外の交流人口の拡大を図るため、中海・宍道湖レガッタ実行委員会に補助金を交付した。

開催日：10月15日(日)

場所：錦海ボートコース（米子市西町）

参加者：250名



2. 経費内訳

中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金

200,000 円



事業項目	②圏域内の連携・交流推進		
事業名	移住・定住等促進事業		
事業概要	圏域人口 60 万人の維持に向けた移住・定住等の促進を図る。	予算現額	3,330,000 円
		決算額	2,298,308 円
		財源内訳	
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般 1,373,091 円 特定 925,217 円
		前年度決算額	2,411,803 円

1. 事業内容

圏域における移住・定住を促進に向け、圏域内に居住、通勤通学または定住を考える独身男女を対象に、結婚相手に会える機会を創出し、未婚化、晩婚化の改善を図るほか、東京大学や島根大学との連携により関係人口の拡大を図る取り組みを行った。

(1) 婚活事業による移住・定住の促進に向けた取組

○昨年度に引き続き、参加者はバスツアーと婚活パーティーに参加する。初めて会うバスツアーでは、参加者同士が共同体験することで親しくなる効果を狙い、2 回目の再会パーティーでは、結婚式場でイベントを行うことで、より婚活を意識させるようなイベントを行った。

【イベント概要】

- ・男性事前セミナー

日時：1 月 21 日（日）13:30～15:30

会場：夢みなとタワー

内容：鳥取県住みます芸人の山田ちゃーはん氏を講師に、デートに着ていくときの服装や女性との会話を弾ませるにはどのような内容をするのかななどのセミナーを開催

参加者：男性 13 名（うち 4 名オンライン）

- ・第 1 回 恋する♡トキメキ・バス婚ツアーvol.2 in 島根※

日時：1 月 28 日（日）9:30～15:30

内容：フィールドビンゴをしながら、出雲大社の散策。松江市での宍道湖クルージングでは、ランチを取り、1 対 1 トークを実施し、意中の相手をアプローチカードに記入し、解散。

参加者：男性 10 名 女性 10 名

- ・第 1 回 恋する♡トキメキ・バス婚ツアーvol.2 in 鳥取※

日時：2 月 4 日（日）10:00～16:20

内容：夢みなとタワーへ集合し、1 対 1 トーク、いちご狩り、森と水の教会でランチ、グループトークを実施し、道の駅あらエッサで意中の相手をアプローチカードに記入し、夢みなとタワーで解散。

参加者：男性 14 名 女性 14 名

※恋する♡トキメキ・バス婚ツアーはどちらかの参加

・第2回 恋する♡トキメキ・バス婚ツアー再会 Party vol.2

in バンケット&ウエディングシュシュ

日時：2月18日（日）11：30～15：30

会場：バンケット&ウエディングシュシュ

内容：チャペルで模擬挙式、1対1トークやフリータイムの後、カップリングシートを記入し、カップリング発表を行った。

参加者：男性21名 女性20名

当日カップリング数13組（重複あり）

※成婚に向けて、委託事業者が追跡調査及びフォローを行っていく（7組）



(2) 首都圏大学との圏域キャンパス事業

○東京大学が実施するフィールドスタディ型政策協働プログラム及び体験活動プログラムに参加し、学生に対しオンライン講座とフィールドワークを実施

①フィールドスタディ型政策協働プログラム 4名参加

課題：交流人口を呼び込め！～ココビトが綴る日本の面影～

松江市の八束地区と安来市の比田地区をフィールドに、「交流人口の増加と関係人口への転換」について、地域活動を進めている住民・団体と連携して、既存の地域資源を活かした地域や地域の人々と多様な関わり創出の提案を依頼した。

(ア) オンラインオリエンテーション (5/30)

両地区の概要や地域で活動する団体について、事務局からオンラインで説明を行った。

(イ) オンラインミーティング (7/4～7/26)

(ウ) 現地活動1 (9/4～9/6)

フィールドワークでは、市職員や地元団体で地区内を回り、現場を見ながら課題を確認

・9月4日（月）

中村元記念館、波入親水公園・竜溪洞など

・9月5日（火）

島採れマーケット、由志園、金屋子神社、湯田山荘、意見交換会（比田地区）など

・9月6日（水）

えーひだ移動販売体験、比田地区サイクリング

(エ) 現地活動2 (11/4～11/5)

・11月4日（土）

磐船神社見学、湯田山荘見学、どじょう捌き体験、意見交換会など

・11月5日（日）

八束町内サイクリング、古民家シェアハウス見学、意見交換会

(オ)現地報告会

2月29日（木）

10:00～松江市役所八束支所

18:30～湯田山荘

参加学生からの研究発表と報告会に参加した地元関係者で意見交換会を開催。



②体験活動プログラム 3名参加

- ・活動テーマ：ラムサール条約登録湿地「宍道湖」・「中海」で水環境と生態系保全を考える
- ・フィールドワーク日時：8月22日（火）～26日（土）
- ・活動内容

宍道湖漁協及び中海漁協等に協力を頂き、宍道湖や中海から得られる恵について体験（漁、資源保護活動、食等）。さらに、地域住民の湖に対する想いに触れるため、漁師等との意見交換を行った。



(3) 島根大学・若者を共に育てるプロジェクト

○各市からフィールドワーク候補地や地域課題を提供し、フィールドワークを実施

①イノベーション創成セミナーⅠ 83名参加

各市担当者からのオンライン授業とフィールドワークを通して学んだ、5市の魅力について、学生目線での地域人材育成コースパンフレットという形で作成した。

(ア) オンライン授業への参加（6月10日）

(イ) フィールドワーク（6月24日）

⑦松江市（16名）

堀川遊覧船、松江城、おもしろ釜、玉作湯神社、島根県立美術館

⑧出雲市（17名）

稲佐の浜、出雲大社、日御碕神社、木綿街道

⑦安来市（17名）

天野紺屋、足立美術館、道の駅あらエッサ

⑧米子市（17名）

米子城跡、加茂川・中海遊覧船、大山トム・ソーヤ牧場、本池美術館

⑨境港市（16名）

夢みなとタワー、境港水産物直売センター、海とくらしの史料館、水木しげるロード



②イノベーション創成セミナーⅡ 10名参加

(ア) フィールドワーク先：松江市八束地区（10/15）

(イ) 活動内容

松江市八束地区の皆様にご協力いただき、地域課題の解決方策（交流人口の拡大）について、調査、提案を行った。

【学生からの提案】

- ・サイクリングマップの作成、スタンプラリーの実施
- ・空き家、古民家を改修、移築した宿の整備
- ・ワーケーション、ラーケーションの環境整備



(4) 地域にはばたけ学生応援補助金

- ・圏域の学生が主体となった地域活動の支援 1件

2. 経費内訳

・婚活に係る経費	925,217 円
・東京大学との圏域キャンパス事業に係る経費	369,810 円
・島根大学 若者を共に育てるプロジェクト等に係る経費	975,410 円
・地域にはばたけ！学生応援補助金	27,871 円
・合計	2,298,308 円

事業項目	③安心して暮らすことのできる環境づくり事業				
事業名	防災対策の充実				
事業概要	安全に安心して暮らすことのできる環境づくりを目指し、圏域が一体となり、広域的な防災体制の構築に向けた取組を行う。		予算現額		500,000 円
決算額			499,796 円		
財源内訳			国・県支出金		0 円
			補助金		0 円
			負担金	一般	499,796 円
				特定	0 円
前年度決算額			497,750 円		

1. 事業内容

中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会の開催及び防災資機材等の購入
(連絡協議会幹事市：米子市)

(1) 構成市町村の防災担当課による連絡協議会開催

- 連絡協議会の開催〔11月22日(水) 14:00～16:10 会場：米子市役所 第2庁舎〕
- 通信訓練の実施〔1月31日(月) 9:00～10:30 会場：各自治体執務室〕

(2) 各市間で融通し使用する防災資機材の購入

○愛犬用防災レスキューセット、防災教育DVDの購入

	米子市	松江市	出雲市	境港市	安来市
愛犬用防災レスキューセット	6	6	6	3	3



〔参考〕

中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会

中海・宍道湖・大山圏域災害時相互応援協定（H25年締結）に基づき設置された協議会
構成市町村：5市及び鳥取県西部町村会

2. 経費内訳

防災資機材購入経費 499,796 円

3 特別会計

(1) 環日本海貨客船航路就航支援補助金

02 事業費

事業項目	①環日本海貨客船航路就航支援補助金				
事業名	定期貨客船航路就航支援補助金				
事業概要	北東アジアに向けたゲートウェイ機能の継続のため、鳥取県と共同で、環日本海貨客船航路の運航を支援する。		予算現額		0 円
決算額			0 円		
財源内訳			国・県支出金		0 円
			補助金		0 円
			負担金	一般	0 円
				特定	0 円
		前年度決算額		0 円	
※運航再開への状況等を踏まえて、必要に応じて、別途補正予算対応を検討する計画であったが、令和5年度中の運航再開は無かった。					
1. 事業内容					
定期貨客船航路就航支援補助金					
圏域の基幹的な物流、観光インフラであることから、運航会社の自立的な運航への移行を支えながら、航路の定着、安定化を図るため、運航に必要な経費の一部を支援する。					
・1航次につき、運航経費のうち固定経費の1／10（上限1,000千円）					
①1,000千円×52航次×3／10＝15,600千円					
・負担割合：鳥取県7／10、市長会3／10					
2. 経費内訳					
環日本海貨客船航路就航支援補助金					
※今後の運航再開への状況等を踏まえて、必要に応じて別途補正予算対応。					
※令和元年11月からの運休、運航会社の韓国海洋水産部への運航免許返納（令和2年4月）があり、令和2年度以降運航なし。					
※令和6年度から運航再開。					
〔参考〕					
令和2年度当初予算（構成市の負担額）					
出雲市・松江市・米子市各2,000千円 安来市1,000千円 境港市8,600千円					

参 考

令和 5 年度

一般社団法人 中海・宍道湖・大山圏域観光局

事業実施報告

一般社団法人中海・央道湖・大山圏域観光局 令和5年度決算額一覧表

(単位：円)

【歳入】

項	目	当初予算額	補正①	補正②	流用	現計予算額	決算額	比較	備	考
負担金	負担金	44,979,000	0	0	0	44,979,000	44,979,000	0		
	市長会からの負担金	44,979,000				44,979,000	44,979,000	0		
会費	会費	6,840,000	0	0	0	6,840,000	6,840,000	0		
	正会員	6,570,000				6,570,000	6,570,000	0		
	賛助会員	270,000				270,000	270,000	0		
補助金	補助金	17,230,000	0	△ 3,730,000		13,500,000	10,400,000	△ 3,100,000	観光庁	
繰越金	繰越金	4,500,000	7,201,000	0	0	11,701,000	11,700,409	△ 591	前年度繰越金	
諸収入	諸収入	0	0	1,000	0	1,000	231	△ 769	預金利息	
合	計	73,549,000	7,201,000	△ 3,729,000	0	77,021,000	73,919,640	△ 3,101,360		

(単位：円)

【歳出】

項	目	当初予算額	補正①	補正②	予備費充用	現計予算額	決算額	比較	備	考
外国人誘客対策事業	クルーズ船おもてなし事業	25,339,000	4,400,000	3,430,000	0	33,169,000	25,828,692	7,340,308		
	インバウンドプロモーション	1,639,000	2,500,000			4,139,000	3,809,257	329,743		
	インバウンドプロモーション	23,700,000	1,900,000	3,430,000		29,030,000	22,019,435	7,010,565		
国内誘客対策事業	国内広域観光プロモーション	18,900,000	0	900,000	3,000	19,803,000	16,258,796	3,544,204		
	国内広域観光プロモーション	4,000,000				4,000,000	3,001,540	998,460		
	人口集積地（発地型）誘客プロモーション	8,400,000		900,000		9,300,000	6,754,594	2,545,406		
	圏域観光再生支援プログラム	6,500,000			3,000	6,503,000	6,502,662	338		
圏域観光の魅力アップ事業	圏域周遊促進及び受入環境充実	20,310,000	1,780,000	△ 6,850,000	119,000	15,359,000	15,358,438	562		
	圏域周遊促進及び受入環境充実	20,310,000	1,780,000	△ 6,850,000	119,000	15,359,000	15,358,438	562		
事務局費	事務局運営費	6,600,000	0	1,500,000	0	8,100,000	6,449,757	1,650,243		
予備費	予備費	2,400,000	1,021,000	△ 2,709,000	△ 122,000	590,000	0	590,000		
合	計	73,549,000	7,201,000	△ 3,729,000	0	77,021,000	63,895,683	13,125,317		

R5歳入合計 73,919,640
R5歳出合計 63,895,683
令和6年度繰越 10,023,957

令和5年度 中海・宍道湖・大山圏域観光局 事業実施状況報告

2 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

協定に基づき圏域DMOが実施

02 事業費

事業項目	01 外国人誘客対策事業		
事業名	クルーズ客船寄港時のおもてなし		
事業概要			令和5年度現計予算額 4,139,000 円
クルーズ船寄港時、境夢みなとターミナル等にて交流イベントや観光案内を実施するなど、来訪する観光客の周遊促進と満足度アップを図る。	令和5年度決算額		3,809,257 円
	財源内訳	市長会負担金	3,809,257 円
		DMO会費	0 円
		補助金	0 円
		その他繰越金	0 円

1. 事業内容

(1) 岸壁における観光案内・交流イベントの実施

■出港時のお見送りイベント（回数：26回【日本船 3回 外国船 23回】）

→(株)オーガナイズへ委託

・英語が堪能なMCによる司会進行や地元演芸団体等によるパフォーマンスを実施。

・乗客が外国人の場合は停泊中イベントとして希望者に墨字をプレゼント。

■フリー客、クルー向けの観光案内（回数：26回）

・圏域5市及び観光局が分担。

・乗船客の8割がフリー客と想定される2千人規模の大型船がうち11回寄港。

■航行中クルーズ船内での観光案内（回数：2回）

・境港の前の港からクルーズ船に乗船し、境港に入港するまでの間船内で観光案内を実施。

・MSCベリッシマ【6/24 富山 ～ 6/25 境港】（乗客数：約2,300人）

・飛鳥Ⅱ【9/16 舞鶴 ～ 9/17 境港】（乗客数：474人）

(2) 外国語観光案内業務及びボランティアの募集登録・管理

■通訳ボランティアの募集・登録

■外国語による観光案内の実施（回数：26回）

→中海・宍道湖観光協会会議に委託

・オプションルツアーを介さないフリー客の利用を想定。

2. 経費内訳

決算額

・観光案内・交流イベントの実施に係る経費

3,411,988 円

・観光案内ボランティア業務に係る経費

397,269 円

計

3,809,257 円

事業項目	01 外国人誘客対策事業				
事業名	圏域インバウンドプロモーション				
事業概要	圏域を一体的に発信する利点を活かし、重要ターゲット国＊を定め、JNTO、山陰DMOと役割分担し、国別に有効な観光プロモーションを実施する。 ＊重要ターゲット国・・・山陽方面に来訪する欧米豪、直通及び近隣の国際路線による東アジア（台湾、香港、上海）		令和５年度現計予算額		29,030,000 円
令和５年度決算額			22,019,435 円		
財源内訳			市長会負担金		16,323,609 円
			DMO会費		0 円
			補助金	観光庁	5,000,000 円
	その他	繰越金	695,826 円		

1. 事業内容

(1) 海外への観光プロモーションの実施

○欧米豪向けプロモーション

■JNTO 賛助会費の支払い

- ・会員特典として、観光コンテンツ収集・発信事業を活用し、令和3年度より弓ヶ浜サイクリングロードに関する記事を掲載。

■動画の作成と英語版ホームページでの公開

- ・東京、大阪から山陰へ、またエリア内観光スポットを移動手段や所要時間の情報を加えた内容。

○東アジア向けプロモーション

【全般】

■訪日旅行サイト「JAPANKURU」での5言語での情報発信

- ・SNS用ショート動画及びリールを制作し、JAPANKURUに掲載。
- ・韓国をメインターゲットに、NAVER blogへの掲載などを強化。（配信数：15回）
- ・NAVER blogでのリーチ数合計は150,841。

【台湾】

■一畑グループ台湾事務所による現地情報発信

- ・台湾でのイベント開催時に情報発信、訪台時の協力、台湾の景気動向や旅行需要の収集、報告。

■台北温泉祭りでの現地プロモーション及び現地視察【11/1～6】

■建国花市での現地プロモーション【2/3～4】

- ・PRブースの設置やステージイベントなどを実施。

【韓国】

■韓国旅行会社FAMツアーおよび商談会【8/1～3】

- ・韓国旅行会社のモードツアーより2名、圏域事業者20社が参加。
- ・事業者アンケートでは、47%が実際に送客を受けたと回答。

【中国】

■上海現地商談会【観光庁補助事業】（延期）

- ・日中関係の悪化もあり、参加希望事業者が少なく効果的な事業実施が困難となった。
→中国運輸局と相談のうえ、市場を韓国に変更し、R6 年度へ繰越して実施予定。
- 香港・上海人の視点による「山陰まんなか！歴史文化を知り、ご縁を結ぶ広域周遊プラン」造成・流通・受入環境整備事業【観光庁補助事業】（コンテンツ造成件数：3 件、モデルコース造成件数：1 件 など）
- ※申請区分を「継続」から「新規」に変更（補助率 2/5→1/2）
- ・販売実績は香港での 5,500 円のみで、中国では無し。

○WEB を活用した情報発信

■英語版 SNS 情報発信（配信回数：5～6 回／月）

→KIZUNA PRODUCTIONS のルーク・ポマレード氏に委託

- ・配信実績は以下のとおり。

フォロワー数：【Facebook】32,647 人、【Instagram】4,046 人

合計リーチ数：【Facebook】6,887,759、【Instagram】1,078,120

※運用開始の 2019 年 12 月からの累計。

■Wechat を活用した情報発信（配信回数：1 回）

- ・(株)ACD および(株)TSK が運営する配信サービス「青山 246 放送部」を活用し、ライバーによる安来市観光の様子を配信。

※和鋼博物館、道の駅あらエッサ・古民家レストラン中海の郷、広瀬絃センター

- ・配信結果は以下のとおり。

視聴数：16,810 人、いいね：115,000

2. 経費内訳

	決算額
・欧米豪向けプロモーション	2,685,340 円
・台湾向けプロモーション	16,025,184 円
・WEB を活用した情報発信	3,308,911 円
計	22,019,435 円

02 事業費

事業項目	02 国内誘客対策事業				
事業名	国内広域観光プロモーション				
事業概要	国内旅行市場に大きな成長は見込めないが、全体に占める観光消費は高いことから広域的に多様な情報を発信して誘客を促進し、圏域への経済効果を高める。		令和5年度現計予算額		4,000,000 円
令和5年度決算額			3,001,540 円		
財源内訳			市長会負担金		3,001,540 円
			DMO会費		0 円
			補助金		0 円
	その他			0 円	
1. 事業内容					
(1) WEB、SNSを活用したプロモーション					
○日本語版ホームページの拡充					
■アンバサダー6名によるブログ更新（更新回数：6～7回／月）					
・圏域のスポット紹介記事掲載し、掲載されたスポットをセレクトリップへ追加					
※セレクトリップはオリジナル旅プラン作成ツール。					
・観光局 SNS で記事更新情報を発信。					
2. 経費内訳					
				決算額	
・WEBによるプロモーション					3,001,540 円
計					3,001,540 円

事業項目	02 国内誘客対策事業					
事業名	人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業					
事業概要	人口集中地域である大都市部をターゲットとし、圏域の魅力や観光資源を積極的に情報発信し、圏域の認知度向上、観光誘客を図る。		令和５年度現計予算額		9,300,000 円	
			令和５年度決算額		6,754,594 円	
			財源内訳	市長会負担金		6,754,594 円
				DMO会費		0 円
				補助金		0 円
		その他		0 円		

1. 事業内容

(1) 基幹交通機関と連携した観光プロモーションの実施

○JR と連携した誘客事業

■JR西日本駅内での観光プロモーション【7/11, 12】

・JR西日本と連携し、阪神地区各駅長への訪問と併せて、各駅利用客に対して、観光パンフレットを配布

実施駅：姫路駅・西明石駅・宝塚駅【兵庫県】

天王寺駅・京橋駅・高槻駅・茨木駅【大阪府】

参加者：JR 松江駅、JR 木次駅、4 市【米子市、松江市、境港市、安来市】

※出雲市 災害対応のため参加できず。

■京都鉄道博物館「W.E 銀河」特別展示に合わせた PR イベント【3/9】

・5 市、安来市観光協会および出雲観光協会が参加し、PR を実施。

・約 3,500 名が来場。

■電車内中吊り広告掲載（掲載数：JR西日本・京阪神エリアで運行する 3,100 車両）

・特急やくもの利用促進、圏域の知名度拡大と誘客促進を図る。

○圏域発着航空便の利用促進事業

■「21 世紀出雲空港整備利用促進協議会」及び「米子空港利用促進懇話会」

冬季利用促進事業への負担金

【出雲】

・旅行会社による旅行商品造成への助成を実施し、374 人が出雲東京便を往復利用。

【米子】

・(株)リロクラブが運営する福利厚生倶楽部の会員専用 HP で特集ページ等を掲載。

・片道 5,000 円の利用補助を実施し、240 席の利用実績。

(2) WEB 以外を活用したプロモーションの実施

■BSS ラジオ「中四国ライブネット」での情報発信【6/25】（配信回数：1 回）

・出演：淀江傘伝承の会（米子）、袖師窯（松江）、森山ロクロ工作所（出雲）、天野紺屋（安来）、HATONOVA 三光丸境港（境港）

・圏域の景品プレゼントに 272 名が応募

(3) 足立美術館展を起点とした北海道プロモーションの実施

■北海道立近代美術館で来館者への観光プロモーション【9/16】

- ・北海道立近代美術館での「足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展」開催に合わせ北海道でのプロモーションを実施。期間中、38,780 人が来場

■圏域の観光 PR に資するデジタルサイネージの作成

■現地情報テレビ番組「どさんこワイド 179」内での特集コーナーで使用する映像作成に対する費用補助

(4) しまねふるさとフェア 2024 での観光プロモーション【1/20, 21】

- ・期間中、156,000 人が来場し、うち 1,000 名からアンケート回答を取得。

※しまねふるさとフェアは島根県の市町村、観光協会、事業所等が広島グリーンアリーナ周辺に集合し、各地域おすすめの観光案内や特産品・グルメ販売、神楽や太鼓などの伝統芸能ステージ披露、各種体験を実施するイベント。

(5) 教育旅行誘致に向けた福岡旅行会社への FAM ツアー【2/26～28】

- ・福岡旅行会社より 4 社 7 名が参加。

株式会社 JTB 福岡支店 2 名

東武トップツアーズ株式会社福岡支店 2 名

株式会社阪急交通社 福岡支店 1 名

名鉄観光サービス株式会社 福岡支店 2 名

※島根県観光連盟との共同実施

- ・アンケートでは今後の組み入れについて、「既に検討」が 28.6%、「今後検討」が 71.4%。

2. 経費内訳

決算額

・基幹交通機関と連携した観光プロモーション	2,721,208 円
・WEB 以外を活用したプロモーション	2,164,443 円
・足立美術館展を起点とした北海道プロモーション	1,229,690 円
・教育旅行誘致に向けた福岡旅行会社への FAM ツアー	639,253 円
計	6,754,594 円

事業項目	02 国内誘客対策事業				
事業名	圏域観光再生支援プログラム				
事業概要			令和５年度現計予算額		6,500,000 円
引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光産業の再生を支援するとともに、回復期に合わせた海外への継続的な情報発信と受け入れ環境の整備に取り組む。	財源内訳	令和５年度決算額		6,502,662 円	
		市長会負担金		4,700,000 円	
		DMO会費		0 円	
		補助金	観光庁	1,800,000 円	
		その他	繰越金	2,662 円	
1. 事業内容					
(1) 周遊促進キャンペーン					
■ X (Twitter) キャンペーンの実施【9/11～2/1】					
・フォロワーを増やし、今後の情報発信力を高めることで、アンバサダーによるブログ記事（ココビトの綴り）やセレクトリップなどの認知度向上。また、その他の告知（圏域のイベント情報など）の発信力の向上を狙う。					
・フォロワー数は4,224人の増加。					
キャンペーン前（9/10時点） 888 人					
キャンペーン終了時（2/7時点） 5,112 人					
(2) 圏域素材を組み合わせたオンラインツアーの造成事業					
■ 「山陰の日本一と人の魅力に会う旅」造成・流通環境整備業務【観光庁補助事業】					
（オンラインツアー造成件数：3件、リアルツアー造成件数：3件 など）					
・オンラインツアーには計42名が参加し、66,000 円の販売実績。					
・リアルツアーは最低催行人数に満たなかったため中止となったが、計9人からの申込があり、765,000 円の販売額に相当。					
2. 経費内訳					
					決算額
・周遊促進キャンペーン					2,000,220 円
・圏域の魅力を活用した観光需要創出事業					4,502,442 円
計					6,502,662 円

事業項目	03 圏域観光の魅力アップ事業		
事業名	圏域周遊促進及び受入環境充実		
事業概要	令和5年度現計予算額		15,240,000 円
地域連携DMOの役割である「かせげる圏域づくり」を目指し、圏域観光の魅力を充実させ、国内外から圏域へ来訪する観光客の受け入れの充実を図るなど、リピーターの確保に繋がる取組を実施する。	令和5年度決算額		15,358,438 円
	財 源 内 訳	市長会負担金	10,390,000 円
		DMO会費	390,243 円
		補助金 観光庁	3,600,000 円
		その他 繰越金	977,964 円
		諸収入	231 円

1. 事業内容

(1) 外国人観光客受入環境整備の実施

- 交流促進コンシェルジュ育成研修の開催【観光庁補助事業内で実施「第2のふるさと」】
(開催数：3回)

- ・参加者数は以下のとおり

第1回【8/22_米子】11名、【8/23_松江】24名

第2回【10/24】25名

第3回【12/19】18名

- 外国人観光客による観光消費拡大のためのアンケート【1/4～2/9】

※ブロック経済協議会との共同実施

- ・調査対象の商工会議所または商工会の会員となっている飲食、小売り、交通、宿泊等の2,202の観光関連事業者のうち、272の事業者が回答。
- ・回答事業者の65%で既に外国人観光客の利用が見られるほか、利用がない35%においても、外国人観光客の受入希望割合が49%となるなど、前向きな傾向が見られた。

(2) 各種事業との連携及びノベルティ・パンフレット作成等

- 美保基地航空祭でのブース出展【5/28】

- ・中海・宍道湖観光協会会議、大山時間（鳥取県西部商工会産業支援センター）、松江堀川地ビール館と連携。

- 山陰の手しごと改訂、ポケットティッシュ、ステッカー作成

(3) 長期滞在型旅行商品造成事業

- 山陰のまんなかで「第2のふるさと」を発見 ロングステイ型旅行商品造成事業

【観光庁補助事業】（モニターツアー実施回数：2回、旅行商品造成件数：4件 など）

※11,700千円→9,000千円に事業費を変更。

- ・モニターツアー参加者のうち、知人や友人へのおすすめ度は81.8%を記録。
- ・販売実績は無し。

(4) 過年度事業項目の磨き上げ、販売促進

- 外国人による「山陰まんなか！歴史文化を知り、ご縁を結ぶ広域周遊プラン」造成・流通

受入環境整備事業で造成した体験コンテンツの販売促進のための現地セールス強化
(セールス社数：12社)

→WAmazing(株)に委託

・体験および周遊プランは、販売人数27名、販売総額139,280円の実績。

■台湾現地商談会(一畑トラベルサービス主催)への支援、参加

(5) 観光関連データを活用した周遊観光促進

■観光データによるマーケティング・戦略策定事業

・当初、訪日外国人旅行者周遊促進事業補助金の活用を計画していたが、当観光局が要件を満たさないことが分かり、観光庁「観光地域づくり法人の体制強化事業」に応募したが、不採択となった。

■山陰まんなかの自然・歴史を活用したアドベンチャーツーリズム造成・流通環境整備事業(観光庁補助)に向けたマーケティング・戦略策定事業を実施

2. 経費内訳

決算額

・外国人観光客受入環境整備	87,408 円
・各種イベント時の広告宣伝及びノベルティ、 パンフレット作成等経費	4,288,076 円
・長期滞在型旅行商品造成事業	9,030,410 円
・過年度事業項目の磨き上げ、販売促進	998,954 円
・観光関連データを活用した周遊観光促進	953,590 円
計	15,358,438 円

02 事業費

事業項目	04 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費			
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営			
事業概要	圏域市長会とブロック経済協議会並びに観光協会会議が連携し、地域連携DMO組織として圏域全体の発展を見据え円滑な事務局運営体制を図る。	令和5年度現計予算額		8,100,000 円
		令和5年度決算額		6,449,757 円
		財	市長会負担金	0 円
		源	DMO会費	6,449,757 円
		内	補助金	0 円
		訳	その他	0 円
1. 事業内容 (1) 圏域観光局各種会議の開催 ■総会 ①6/30（書面会議）②3/28（書面会議） ■理事会 ①6/28 ②11/16 ③3/28 ■課長会 ①5/8 ②11/9 (2) 山陰インバウンド機構等との連絡会 ■①6/21(米子) ②8/2(DMO 意見交換会 広島) ③10/31(米子) (3) 観光関連団体との意見交換 ■中国運輸局、せとうち観光振興機構、中国地域観光推進協議会、中国経済連合会、島根県広島事務所、広島県観光連盟 5/10, 11、9/5 → 中国地域観光推進協議会へ入会する。				
2. 経費内訳				
・事務局運営費（嘱託職員、アドバイザー経費を含む）				決算額 6,449,757 円
計				6,449,757 円